

令和2年度入学式式辞

満開のさくらで、春が、皆さんを祝福してくれている今日のよき日に、本校に入学した310名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

本日は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、新入生、保護者、教職員での入学式となりました。日頃から本校を支えてくださっている御来賓の皆様の御臨席はありませんが、入学した皆さんに心からお祝いを申し上げたいとの御来賓の皆様のお気持ちを代わりにお伝えいたします。

西中学校は、全国的にも珍しい木造校舎の中学校です。この校舎が地域のシンボルであり、温かい木のぬくもりにあふれる校舎は、私たちみんなの誇りです。

みなさんは、今日から、3万人をこえる卒業生の歴史と伝統に支えられた西中学校の生徒として新たな一步を踏み出しました。先ほどから、まっすぐな視線で私を見ている皆さんの姿勢に感動しているところです。この視線には、新しい中学校生活への大きな期待が込められていると受け止め、わたくし自身、身が引き締まる気持ちです。

本日の入学式は、西中学校の73年の歴史の中で初めてのことが二つあります。一つは、先ほど申し上げました御来賓の皆様の御臨席がないことです。もう一つは、男女混合名簿による着席です。小学校ではすでに実施されていますが、西中学校では、本年度から男女混合名簿を実施いたします。全員が五十音順に並ぶことは、男女共同参画社会の一つの姿でもあり、また、このことによって、一人ひとりの多様性を相互に尊重し合い、よりよい社会を築く資質を養う一つの環境になると考えています。

さて、みなさん。西中学校には、目標とする合言葉があります。

「倉敷NO.1の西中にしよう」です。私たち西中学校の生徒と先生たちは、この合言葉で、次のNO.1を目指しています。「明るさNO.1」,「元気さNO.1」,「前向きさNO.1」,「優しさNO.1」です。これらは、すべて西中学校の生徒のよさに着目した合言葉です。2・3年生の多くは、このNo.1を実現しており、わたくしは「倉敷No.1」に限りなく近づいていると思っています。ぜひ、皆さんも一緒に、すべての.1を実現する努力をしてほしいと思います。

終わりにになりましたが、保護者の皆様、本日はお子様のご入学、本当におめでとうございます。中学校3年間は、義務教育の最後を締めくくる、とても重要な3年間になります。私たち教職員は、心をつなげて、全力で教育に取り組んでまいります。そして、西中学校が、生徒にとっても、保護者にとっても、教職員にとっても幸せな喜びにあふれる学校であることを目指していきます。

これから始まる中学校生活、さまざまな問題にぶつかることもあるかもしれませんが、家庭と学校と地域が一体となって、生徒一人ひとりを心豊かに育てていきたいと思っています。どうか、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

新入生の皆さんにとって、今日からの中学校生活が、笑顔で充実した毎日になることを願って、式辞といたします。

令和2年4月10日

倉敷市立西中学校 校長 松本一郎